



＝令和6年度竜王小学校だより＝

竜の子

令和6年 9月 2日

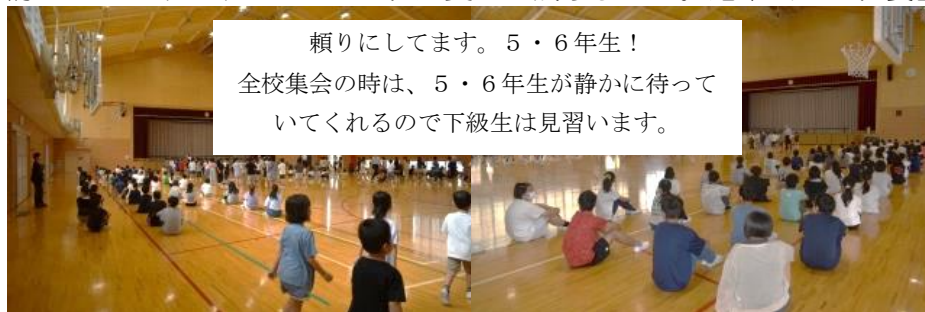
No. 5

校長 松井 渉

キラキラしている子どもたち

今年ほど、天気予報を注視した2学期のスタートはありませんでした。29日の夜から、台風の影響を心配しながら、30日の朝を迎え、みんなが笑顔で、元気に学校に来てくれるといいな、そんな気持ちで子どもたちを待っていました。子どもたちは多くの荷物を持ち、小雨が降る中、笑顔で登校をしてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。子どもたちがいてくれるからこそこの学校と改めて思いました。

子どもたちから、海やプール、花火大会に行ったことなど、たくさん楽しい思い出を聞くことができました。また、読書感想文や夏休みの友などの宿題を頑張ったという話も聞くことができました。2学期に頑張りたいことを聞くと、勉強と答えてくれたのですが、特に、「漢字」という答えが一番多かったです。話をする時、大掃除をする時、学級活動に臨む時、子どもたちは誰もが目や表情がとてもキラキラしていて、大変心に残りました。始業式では、裏面のことを伝えました。



頼りにしてます。5・6年生！
全校集会の時は、5・6年生が静かに待っていてくれるので下級生は見習います。



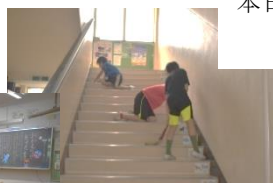
夢に向かって！

本日から1ヶ月間、教育実習生がきています。

全員
輝いていました！



引き受ける！



兄弟の絆から

助け合う！



かけあう！
わけあう！



夏休み中、車を運転していた時、ある交差点で赤信号のため止まりました。ふと、歩道を見ると、小学校中学年ぐらいと低学年ぐらいの兄弟と思われる男の子たちが立っていました。弟の方が車道近くに立っていたので、危ないなと思いました。しかし、よく見ると、お兄さんの左手が弟のリュックを後ろから、しっかりと握っていました。表面的なことしか見なかった自分を恥じるとともに、力強い左手に、あたたかさを感じ、「おにいちゃん、頑張れ」とエールを送りたくなりました。きっと、お家の方から、「弟の面倒を見てね」と言われているのだろうと推察しました。学校でも、引き続き、交通安全について指導を行ってまいります。ご家庭でも、自転車の乗り方等、ご注意をお願いします。

また、今年の夏は、地球温暖化から、地球沸騰化・熱波襲来と言われるほど、暑い夏でした。台風が去った後も、暑い日が続く予報となっています。新型コロナウイルスは、増減を繰り返す状況となっています。

2学期は、運動会など、大きな学校行事があります。子どもたちの安全を第一に考え、感染防止対策等を可能な限り行い、できることを“工夫”し、当たり前を当たり前と思わず、できることに“感謝”し、日頃の学習、行事の実施を目指していこうと考えています。保護者の皆様には、今後も、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いします。



1学期の始業式で、「毎日、少しずつ努力をすることで、1年後には、皆さんの力は、とても強くなります。」という話と、もう一つ、クイズを出したことを覚えていますか。（「あいうおお」と書かれた紙を見せながら）このクイズの答え、覚えていますか。答えは、（あいうえおの「え」が「お」になっているので）「えがお」です。

みなさんは、「人を笑顔にする算数」があることを知っていますか。

今日は、「人を笑顔にする算数」を紹介します。

たす「**+**」は、**たすけあう**ことです。一人一人の力は小さいものであっても、一人より二人、二人より三人と、お互いに力を合わせ、助け合うことで、より大きな力が発揮されます。

ひく「**-**」は、**ひきうける**ことです。誰でも、面倒なことや大変なことは引き受けたくはありません。しかし、進んで引き受けることで、相手は喜びます。相手に喜びが感じられれば、引き受けた人も喜びます。お互いに喜び合える関係がつかれます。

かける「**×**」は、**声をかける**ことです。どんな時にも声を掛け合うことは大切ですが、何という言葉をかけてもいいかも大切です。「バカ」、「死ぬ」、「キモい」、「ウザい」、「そんなことも知らないの?」、「一緒に遊んであげない」、「あっちへ行け」など、言われると悲しくて、心が傷つく「チクチク言葉」をかけることではないです。「チクチク言葉」を言う時は、相手の気持ちや心の痛みを全く考えていないので、お友達とは仲良くなれません。逆に、例えば「ありがとう」、「ごめんね」や「すごいね」、「かわいいね」、または「大好きだよ」とか「楽しいね」、「よく頑張ったね」など、言われると気持ちが嬉しくなる「ふわふわ言葉」をかけると、言われた方は気持ちが楽になり、勇気もわき、笑顔になります。自分自身に「ふわふわ言葉」を言ってあげると、自分も、やる気が出ます。あいさつ・笑顔はもちろん、優しい言葉や励ましの言葉をかけることによって、お互いの気持ちが通じ合えます。

わる「**÷**」は、**わけあう**ことです。楽しいことを分け合えば、楽しさは何倍も大きくなります。苦しいことを分け合えば、苦しさは、どんどん減っていきます。分け合い、分かち合えば、相手の心が和み、必ず相手から笑顔が返ってきます。小さな気配りや心配りが人と人をつなげてくれます。

人は、自分が傷つけられた（された）ことには敏感ですし、自分の思い通りに相手が動いてくれないと不満に感じたりしがちです。一方で、自分が傷つけている（している）ことには、気付かないことが多いものですし、相手の立場や状況に考えが及ばないことで、すれ違うこともあります。



困っていたり、悩んでいたりと、相手の心の中は見えにくいものです。

でも、一人一人の小さなやさしさ、心遣いによる「人を笑顔にする算数、思いやり算」が、「みんなの笑顔」という大きな答えにつながるものです。

4年生で習う“計算のきまり”では、たし算よりかけ算を先にやることになっていますが、思いやり算に順序はありません。どれからやっても正解です。

みんなが互いに声を掛け合い、助け合う心をもって仲間を大切にしていけば、さびしい思いをする人がいなくなり、一人一人が活躍して321人の力が集まれば、もっとよりより竜王小学校になっていくことから、本年度の児童会の目標は、「全校の友情で創ろう!! 輝くにじいろ!!」となっています。竜王小学校全員で、お互いに助け合い、明るく思いやりあふれる学校にしていきたいと思います。



思いやりや心配りを具体的にわかりやすく伝えていて、覚えやすいフレーズです。これは10年ほど前にテレビCMでも使われていましたので、覚えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

困っている友達がいたら助け合い、損な場面も笑顔で引き受ける。いつも声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う。そんな、思いやり算の得意な「竜（たつ）の子」をたくさん育てていきたいと思います。